

令和4年10月21日

これまでに橈骨遠位端骨折術後の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

那覇市立病院リハビリテーション室では「肘関節運動を可能とした前腕回旋制限スプリントの有用性 第2報—橈骨遠位端骨折術後におけるNCHスプリント固定の傾向と課題—」という臨床研究を行っております。この研究は、橈尺骨遠位端骨折後に、那覇市立病院式前腕回旋制限スプリント（以下、NCHスプリント）を装着した患者様を対象としております。当院で開発したNCHスプリントを装着された、患者様の治療経過について検討し、NCHスプリントの有用性を調べることを主な目的としています。そのため、過去に橈骨遠位端骨折の治療を受けた患者様のカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- ① この調査研究は那覇市立病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：倫理委員会承認日 ～ 西暦 2025年3月31日まで
対象調査期間：西暦 2017年4月1日 ～ 西暦 2022年3月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象はこれまでに橈骨遠位端骨折の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真等です。
情報：肩関節屈曲可動域，肘関節屈曲・伸展可動域，手関節掌屈・背屈・橈屈・尺屈可動域，前腕回内・回外可動域 等
- ③ 外部への試料・情報の提供
なし
- ④ 過去のデータを使用する研究であり，新たな検査や費用が生じることはなく，また，データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ⑤ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い，個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑥ 調査研究の成果は，学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが，名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく，個人情報は守られます。
- ⑦ 調査研究の結果，特許などの知的財産が生じる可能性もございますが，その権利は那覇市立病院に帰属し，あなたには帰属しません。
- ⑧ この調査研究は，那覇市立病院リハビリテーション室の研究費で行っており，特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく，利益相反状態にはありません。

⑨ 研究組織

なし

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

那覇市立病院 リハビリテーション室 作業療法士

研究責任者：澤田歩

T E L : 098-884-5111(代) F A X : 098-884-5109